



2025年3月12日

各位

会社名 株式会社 C a s a
代表者名 代表取締役社長 宮地 正剛
(コード番号: 7196 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 経営管理部長 夏川 賢淑
(TEL. 03-5339-1143)

貸倒引当金に係る会計上の見積りの変更、
および2025年1月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は求償債権に係る貸倒引当金の会計上の見積りを変更したことに伴い、2024年9月12日に公表しました2025年1月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 会計上の見積りの変更について

(1) 変更理由

当社の家賃債務の保証により生じる求償債権(以下、「求償債権」)は、以前より他の家賃債務保証会社と比べて多額な傾向にあり、貸倒引当金の適正化が課題となっておりました。

従来の貸倒引当金の会計上の見積り手法とその課題

項目	見積り手法	示された課題
債権分類	すべての債権が一元管理されていることを踏まえ、求償債権を一律に評価	家賃債務保証の特性を踏まえると、 <u>債務者ごとにリスクを段階的に評価</u> することが望ましいのではないか
貸倒損失	一定期間の入金が確認できない <u>債権</u> について損失処理	債権単位で損失処理を行うことから、1つの契約内で損失済と未損失の債権が混在したまま、その後の回収活動の結果、営業外収益(償却債権取立益)に計上される傾向にあり、 <u>リスク評価の単位を再検討</u> することが望ましいのではないか
貸倒引当金	未回収リスクは過去の貸倒実績に近似するという仮定に基づき算定 <u>将来期間分の未回収リスクを初年度に一括計上</u>	上記に加え、 <u>当初見積もった未回収リスクに内外の経済環境の変化を反映(リスクの洗替)</u> することが望ましいのではないか

貸倒引当金の会計上の見積りを最適化することについて、2023年下期より検討を始めてきましたが、2024年期首時点では当社の債権管理の実態及びシステム処理を踏まえると従来の見積り方法にも合理性があり、監査法人とも協議の結果、評価方法について継続して取り組むこととしました。

2024年2月に基幹システムの入れ替えにより、求償債権データの分解・解析が進み、一貫通貫で精緻な分析・管理が可能になりました。これに伴い、求償債権の性質の再識別を実施いたしました。【求償債権の属性の再評価】

2024年11月1日より求償債権を管理する顧客管理部を債権管理手法と活動方針に合わせた組織に再編し、一層の回収強化を図る体制を構築いたしました。【債権属性リスクに応じた管理体制の構築】この取り組みの結果、求償債権に対し、さらに機動的なアプローチが可能となりました。

当社の債権管理の環境変化を踏まえ、貸倒引当金の会計上の見積り方法の見直しを行いました。

具体的には、家賃債務保証における顧客管理、債権管理、資産保全の考え方に合わせ、債権単位のリスク管理から債務者の契約単位ごとのリスク管理に変更しました。【評価単位の変更】

同時に、滞納月数と回収不能の兆候に応じて、債権を分類したうえで一定の評価を行う仕組みを取り入れました。【リスク判定の強化】

これにより、当第4四半期末において求償債権に係る貸倒引当金は従来よりも967百万円減少し、2,937百万円となりました。

なお、過去の引当金の計上額については当時の見積りとしては妥当であることから、過去の開示済の決算数値の訂正は行いません。

(2) 変更の影響(2024年2月1日～2025年1月31日)

	従来の方法 【ア】	変更後の方法 【イ】	変更による影響 【イ】－【ア】
求償債権に係る 貸倒引当金	3,904百万円	2,937百万円	▲967百万円 (引当金の減少)
求償債権に係る 貸倒引当金繰入額	3,253百万円	1,866百万円	▲1,387百万円 (売上原価の減少)

2. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2025年1月期 通期連結業績予想数値の修正 (2024年2月1日～2025年1月31日)

	売上高	EBITDA※	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,081	1,509	759	935	185	18.23
実績値 (B)	12,157	2,178	1,303	1,564	602	59.78
増減額 (B－A)	75	669	544	629	417	－
増減率 (%)	+0.6	+44.3	+71.7	+67.3	+225.4	－
(ご参考) 前期実績 (2024年1月期)	11,224	－	786	965	605	60.35

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費等＋のれん償却額＋繰延消費税額等＋償却債権取立益

(2) 修正の理由

当連結累計期間の業績は、2024年9月12日に公表いたしました業績予想値に対し、上記「1. 会計上の見積りの変更について」に記載の通り、求償債権に係る貸倒引当金の見直しを行ったことに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益が予想値を上回る結果となりました。

以上の理由により、前回発表の通期連結業績予想数値を修正いたしました。

以 上